

NEWS RELEASE

2026 年 10 月 19 日

各位

株式会社ドウシシャ

**「リプトン (Lipton)」 と「白湯専科 白湯呑み」がコラボ
「白湯専科 白湯呑み meets Lipton」を発売**

生活関連用品の企画・開発・販売を行う株式会社ドウシシャ（大阪本社：大阪市中北区、代表取締役社長：野村 正幸、以下「ドウシシャ」）は、リプトン・ティーアンドインフュージョン・ジャパン・サービス株式会社（本社：神奈川県川崎市中原区、代表取締役社長：高森智史、以下「リプトン」）が展開する世界 No.1 ティーブランド*「リプトン」と、白湯を飲むことに特化した「白湯専科 白湯呑み」のコラボレーション製品「白湯専科 白湯呑み meets Lipton」を 2026 年 10 月 19 日（月）から全国のロフト店舗、ドウシシャの公式オンラインストア「ドウシシャマルシェ」、通販サイトにて順次販売します。

*ユーロモニターインターナショナル調べ；お茶および茶系飲料の合算カテゴリーにおける総小売販売金額シェア(2025 年)

URL : <https://do-cooking.com/sa-yousenka/>



「白湯専科 白湯呑み meets Lipton」

今回発売する「白湯専科 白湯呑み meets Lipton」は、白湯を飲むことに特化した「白湯専科 白湯呑み」と世界 No.1 ティーブランド*「リプトン」とのコラボ製品です。昨年発売した「白湯専科マグカップ meets Lipton」は、多くのお客様からご好評をいただきました。その反響を受け、このたび「白湯専科 白湯呑み meets Lipton」を発売します。

「白湯専科 白湯呑み」は内蔵されている吸熱剤によって、熱湯を約 2 分で白湯を飲むのに適した温度に下げ、その温度を約 30 分保持する、当社人気商品です。

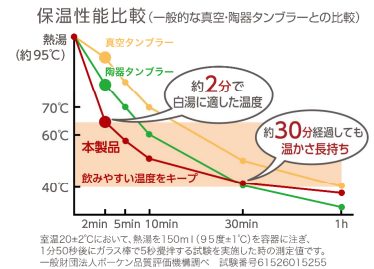
このコラボレーションにより誕生した「白湯専科 白湯呑み meets Lipton」は、白湯はもちろん、使い方をアレンジすることで「リプトン」から新たに発売した「抹茶入り緑茶」シリーズも最適な温度でおいしく楽しむことができます。

【商品特長】

◆吸熱構造を活かして抹茶入り緑茶をおいしく淹れられる

今回リプトンと共同で、本製品で抹茶入り緑茶をよりおいしく飲むための使い方をレシピとしてご紹介します。

- ① はじめにお湯をカップに入れ 10 秒待ち、中身を捨てます。これは湯呑みに内蔵された吸熱剤に熱を伝えることで、その後の保温効果を高めるためです。
- ② 次に沸騰したてのお湯を注ぎ、ティーバッグを入れます。吸熱剤が十分に温まることで保温剤として機能し、長時間温かい状態を保ちながら緑茶を抽出できます。
- ③ その後、お皿などでふたをしてティーバッグの種類に合わせて 1～3 分蒸らします。
- ④ 最後にふたを外してティーバッグを取り出すことでおいしい緑茶を淹れられます。



◆おいしい紅茶と緑茶の淹れ方カード入り

本製品には、緑茶・紅茶それぞれのおいしい淹れ方を紹介したレシピカードが封入されています。表面には緑茶、裏面には紅茶の適温・蒸らし時間などを掲載しています。世界 No.1 のティーブランド*であるリプトンは、緑茶・紅茶それぞれの茶葉の特長を活かした香り高い味わいが人気です。

茶葉の種類によって、最適な淹れ方が異なるため、リプトンならではのこだわりがつまったレシピカードで、気軽においしいお茶を楽しむことができます。



◆リプトンカラーの白湯呑み

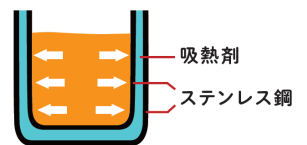
リプトンのブランドを象徴する「イエローラベル」のほか、「緑茶さくら」「緑茶」の全 3 色展開です。各色の名称は、リプトンで展開するお茶の名前にちなんだネーミングとしました。



◆白湯に適した構造

白湯とは一度沸騰させ飲みやすい温度にまで下げたお湯のことをいいます。一度沸騰させることで、不純物やカルキが取り除かれ飲みやすくなります。

当製品は本体内部と外側に断熱効果の高いステンレスを使用し、そのステンレス 2 枚の間に、吸熱剤を入れることで熱湯を飲みやすい温度に下げることができます。保温のための蓋をなくし、熱を遮断する真空構造もなくすることで、温度をより下がりやすいようにしました。



◆約 2 分で熱湯を飲みやすい温度に下げて温かさ長持ち

熱湯を注ぐだけで吸熱剤が熱を吸収し、約 2 分で飲みやすい約 64°C にします。吸熱剤が一定の温度まで下げた後は、吸熱剤自体の熱と、蓄熱性の高いステンレスのおかげで、徐々に本体外側に熱を逃がしながら、飲みやすい温度を約 30 分程度保つことができます。

一般的なステンレス真空 2 重構造のマグカップだと 3 分で約 86°C、陶器製のタンブラーでも約 79°C とすぐに飲むには熱い温度です。本製品は朝に使用いただくことを想定しています。忙しい朝でもさっと温度を下げることで、手軽に温活を続けることが可能です。

◆じんわりと外側に温度が伝わる

本製品は白湯専用設計として独自開発の吸熱構造を採用しています。そのため、飲みごろ温度へ導くだけでなく、本体の外側にもじんわりと温もりが伝わります。肌寒い日には、両手で湯呑みを包み込むことで、手もやさしく温めます。

◆リプトン限定デザイン

本体の正面にはリプトンのロゴが印刷され、いつでも気軽に緑茶や紅茶でリラックスをしてほしい気持ちを込めてデザインしました。

【リプトンについて】

135年以上にわたる茶の研究と品質へのこだわりをベースに茶葉を厳選し、気軽においしく楽しめるお茶を100カ国以上で展開している世界 No.1 のティーブランド*です。

19世紀末、トーマス・J・リプトン卿は“たくさんの人に、気軽に上質な紅茶を飲んでもらいたい”と考え、品質の安定した紅茶をお客様に提供することを目指しました。そこでリプトンは広大な茶園を買い取り、茶樹の栽培から生産まで一貫して行うことで、その理想を実現し、「茶園から直接ティーポットへ」というスローガンが生まれました。紅茶事業を始めてから、135年以上がたった今も、常にその思いを胸に歩み続け、昨今の Wellbeing（心身ともに健康であること）への注目や消費者の健康意識の高まりとともにお茶ブームを牽引してきました。また、ブランド理念として「大切な人とのつながりになるブランド」を掲げており、一杯の紅茶が生み出す大切な人との時間から、皆様がもっと前向きな気持ちに、もっと笑顔になれるとリプトンは信じています。



*ユーロモニターインターナショナル調べ；お茶および茶系飲料の合算カテゴリーにおける総小売販売金額シェア(2025年)

【商品概要】

名称 : 白湯専科 白湯呑み meets Lipton
型番 : OZSY200LYL/OZSY200LST/OZSY200LGT
カラー : 白湯専科 白湯呑み meets Lipton イエローラベル
 白湯専科 白湯呑み meets Lipton 緑茶さくら
 白湯専科 白湯呑み meets Lipton 緑茶
サイズ(約) : W70×D70×H90mm
容量(約) : 200ml
希望小売価格 : 3,058 円(税込)
URL : <https://do-cooking.com/sa-yousenka/>

【会社概要】

商号 : 株式会社ドウシシャ
代表者 : 代表取締役社長 野村 正幸
所在地 : <大阪本社> 〒542-8525 大阪府中央区東心斎橋 1-5-5
 <東京本社> 〒108-8573 東京都港区高輪 2-21-46
 <東京本社第1ビル> 〒140-0011 東京都品川区東大井 1-8-10
設立 : 1977年1月
資本金 : 49億93百万円
URL : <https://www.doshisha.co.jp/>

【本製品に関するお客様からのお問い合わせ先】

株式会社ドウシシャ お客様相談室
Tel : 0120-104-481 (平日 9:00~17:00)

※プレスリリース記載の情報は、情報公開日時点の情報です。

※内容は予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。